

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

奈良をつなぐ木の家

グループの名称

奈良をつなぐ家づくりの会

直近採択グループ番号

06-0119-0591

(グループ代表者)

代表者名	伏見 康司	代表者印
代表者所属先	株式会社伏見建築事務所	
代表者所在地	奈良県生駒市北田原町1052-1	
代表者電話番号	0743-85-5338	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社伏見建築事務所	
事務局担当者名	伏見 康司	印
事務局郵便番号	630-0142	
事務局所在地	奈良県生駒市北田原町1052-1	
事務局電話番号	0743-85-5338	
事務局FAX	0743-85-5339	
事務局担当者E-mail	yiwaki@kcn.ne.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	奈良をつなぐ木の家
2. グループの名称(必須)	奈良をつなぐ家づくりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0119-0591
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	奈良県全域 近隣府県(京阪神)
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	伏見 康司
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社伏見建築事務所
8. グループ代表者所在地(必須)	奈良県生駒市北田原町1052-1
9. グループ代表者電話番号(必須)	0743-85-5338
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社伏見建築事務所
11. グループ事務局担当者名(必須)	伏見 康司
12. グループ事務局郵便番号(必須)	630-0142
13. グループ事務局所在地(必須)	奈良県生駒市北田原町1052-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0743-85-5338
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0743-85-5339
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	yiwaki@kcn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	1	
II. 製材・集成材製造・合板製造	7	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	7	
IV. プレカット	1	
V. 設計	10	
VI. 施工	9	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明						
		吉野杉、吉野桧	奈良県吉野地方	奈良県産材証明制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		14	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	14	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
基本的には着工順とする。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	7	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奈良をつなぐ木の家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県全域 近隣府県(京阪神)
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 奈良をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0119-0591	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◎
④①～③の背景	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	◎
①-2 使用建材の統一	
①-3 標準仕様の設定	
②-1 建材・資材調達共同化	◎
②-2 調達事務の合理化	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	◎
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	◎
c	
① 週休2日制の導入の取組	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	○
③ 社会保険への加入	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奈良をつなぐ木の家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県全域 近隣府県(京阪神)
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奈良をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0119-0591	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し30年後までの維持保全計画書を作成する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検後は事務局に提出する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検の実施(1年・2年・5年・10年) 点検内容について独自のチェックリストを作成。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 無垢材のメンテナンス方法や、左官の補修方法などの相談会や体験会を実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 左官体験を実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント等で住宅相談会を実施している。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 準備中。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主の希望により、グループ内構成員でバックアップをする。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 検討中。		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工勉強会と太陽熱利用給湯装置の利用の勉強会、定例の職人座談会を開催。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材の品質に関しては一定の基準を設けている。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各事業者の社内規格による。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検討中。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術講習会、職人座談会、設計セミナー等を定期的で開催し、グループに所属する会社の社員や職人など個々の技術を高める。若手の育成を行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人座談会で、グループ内の職人が顔を合わせ、交流を図る。各施工事業者の仕事の忙しさに応じ、グループ内の大工職人を行き来してもらう。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 23 今年度の参加目標人数 3
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 30 今年度の参加目標人数 5	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会情報を連絡。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奈良をつなぐ木の家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県全域 近隣府県(京阪神)													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奈良をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2012 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0119-0591														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】															
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	使用部位(主要構造部、羽柄材、内外装材)それぞれに対して指定割合を奈良県産材証明制度によって証明された県産材とする。主要構造材(柱・梁・桁・土台)の75%以上に使用。同証明による県産材を内外装材は30㎡以上、羽柄材は80%以上使用する。 1棟当たりの使用量はおよそ10~20㎡超程度。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	○奈良をつなぐ家づくりの会の家づくり主義:「地域材を使い、職人の手による家づくり」 地域材(吉野の原木生産者・原木流通業者・製材所・プレカット事業者) → 大工左官による職人技術(地域工務店)・木の家の設計(設計事務所) ○林業と木のことを多くの人に知ってもらうための活動 ・「吉野の森見学バスツアー」を年に数回開催する。 ・会のオリジナル絵本(コンセプトブック)「奈良をつなぐ木の家」を広く配布する。													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 製材所間で在庫情報交換を実施。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 材別立米価格等設定。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 300㎡~400㎡	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 250枚	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 700坪	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 200枚	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 300枚	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 杉桧等の地域の木や、和紙・漆喰・土壁などを活用する。	◎												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 格子、深い軒等。	◎												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の古民家や、民家再生の改修現場の見学会を実施し、民家の知恵や技を現代の住まいに活用する方策を考える。	◎												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上	◎												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上	◎												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・地域の気候風土に合うよう、軒を深くする。(軒の深い外観。) ・外壁は左官仕上げまたは板張りとする。(窯業系サイディング等は使わない。) ・外部のよく見える部分に木を使い、伝統的な木の文化と歴史のある奈良の地域性を意識した家づくりを行う。 ・室内建具は既製の工業製品を使用せず、建具職人による製作のものとする。	◎												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】															
	東日本大震災の復興に資する取組	東北で生産されている建材等を積極的に取り入れる。	○												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	地震に対する木造(伝統工法も含む)の被害状況の勉強会などに積極的に参加、情報交換。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 奈良をつなぐ木の家	(地域型住宅供給対象地域) 奈良県全域 近隣府県(京阪神)
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 奈良をつなぐ家づくりの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0119-0591	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

使用材料
 ・地域材を使用した木造住宅

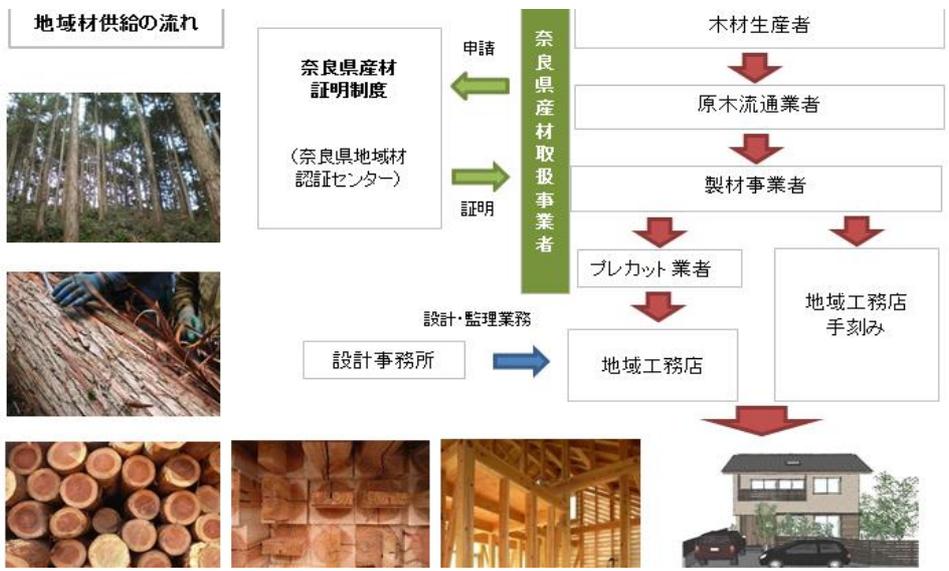
原木生産者、流通業者、製材業者、プレカット業者は、奈良県産材証明制度(奈良県地域材認証センター)による奈良県産材取扱事業者。
 プレカットについては、工務店による手刻み加工もあるため、製材事業者から直接工務店へ材料が流れる事もある。

省エネに対する取り組み
外皮の断熱
 ・開口部はLowEガラス、樹脂サッシ、木製サッシ等を使用することを推奨。開口部の断熱性能を高め、結露を防ぐ仕様とする。
 ・断熱材は、各地域の省エネルギー基準による指定以上の高性能のものを使用し、施工も綿密に行う。屋根面(天井面)の断熱性能は特に重視する。

日射遮蔽
 ・軒の出を深くして夏場の直射日光の室内への流入を防ぐ。
 ・障子や外部のすだれを積極的に取り入れる。

自然エネルギー利用
 ・南面の開口を大きくし、冬場の日射熱利用を心がける。(ガラスは断熱LowE推奨。床壁等を蓄熱部として利用することを検討。)
 ・自然風を利用するために風通しの良い設計を心がける。窓配置や、卓越風、高窓の利用等。
 ・昼光利用を心がける。(太陽光の利用。)

設備
 ・電気設備・給排水設備等(照明器具、給湯設備、水栓、トイレ、浴槽等)については、省エネ型、節水型、保温型等を標準仕様とする。
 ・雨水利用・太陽熱給湯装置の利用を心がける。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。